

# 9月



学校だより/姫川原小



## 「姫川原の風音」

「姫川原の風音」とは、写真の作品の題名である。真の強そうな、それでいてかわいい小さな女の子だ。少し空を見上げたような目の先は、何を見ているのであるのか。手のひらには、ブドウの小さな房がのっけている。ブドウの一粒一粒から、柔らかな鳥坂ぶどうのナイヤガラの特徴が伝わってくる。

実は、この少女は、閉校記念に作ろうとしているブロンズ像の型である。制作者は、上越教育大学名誉教授の峯田敏郎先生。彫刻家として大活躍の先生だ。高田公園内堀コーナーを飾っている作品を始め、これから北陸新幹線上越妙高駅を飾る上杉謙信像も先生の手によるものとなる。

そんな有名な先生に、ある会で初めて会ったその日のうちに、身の程知らずの私は直接お願いしてしまった。予想外の快諾に驚いたが、単なる石碑で終わらない閉校記念碑にしたいという一途な思いが、優しい先生に伝わったと思いたい。

数日前、先生から作品名と石膏の型の写真が送られてきた。そこで、今回はうれしくて、いち早く紹介の号となった。校庭には、少女が座る予定のベンチ形の台座の設置も終わった。後は、十一月二十二日、ブロンズ像を待つばかりだ。

先に子どもたちから少女の名前の募集をしておいた。少女の名前は「さっちゃん」。見上げた少女の目には、高床山が映り、耳元には、きつとメタセコイヤの話し声が聞こえるであろう。さっちゃんの隣に座って、姫川原の風音をぜひ聞いて欲しい。

# フェンスに描いた 姫小六年間

100mのフェンスから  
響く子どもたちの声



涼しくなった今、グラウンドフェンスに六年間の思い出を描いたあの日の暑さが懐かしい限りです。

子どもたちにとって夏休み初日の七月二十五日、全校召集日として、学校独自の閉校記念イベントを行いました。内容は、航空写真を撮り、グラウンド脇のフェンスに絵を描くことでした。昨年からは、フェンスの汚れを落とし、下地のページュ系ホワイトのペンキ塗りをし、準備を進めてきました。冬には、学年の活動を振り返り、子ども一人一人が思い描いた絵を描きました。それからの作業が担任です。その絵を基に、学年分担の二枚のフェンスに構成を考えながらデザイン準備を進めたわけです。

実際、作業をする七月は進級していましたが、昨年デザインした思い出を、昨年の担任と一緒に描く方式をとりました。六年の壁面は、卒業した中学一年生です。部活の関係もある中で、忘れずに駆けてくれました。久しぶりに中一に会った子どもたちは、再会を喜び、体育館で一緒に追いかけてっこをしている様子は、姫小らしい微笑ましさでした。

下絵をどうフェンスの大きさに描かせるか、心配していた職員でしたが、上越教育大学の阿部先生のご指導のおかげで、当日は思いのほか早く仕上がりました。子どもたちが帰った後、学生ボランティアさんと職員で、最後の仕上げをしました。心地よい疲れでしたが、くつきり、すつきりとした仕上がりに満足の笑みを浮かべながら、二十枚の百メートルにも及ぶ見事な眺めは壮観でした。道行く人たちも、何かかと思いがながら、見入っていました。勤務帰りに真っ白の壁面が楽しい絵に変わっていたので、狐につままれたような人もいたことでしょう。

それにしても保護者や地域の皆さんが大勢駆けつけて下さり、大変心強かったです。皆様の協力に心より感謝申し上げます。



最後の入学生は仲よし6人組 入学式のうれしい自分の姿です。



うちゅう学年1年生 ヤギのお世話を一生懸命し、一緒に大きくなったね。



ひまわり学年2年生 広い畑をみんなで力を合わせ、野菜作りを頑張ったね。



そら学年の3年生 姫小伝統ナイアガラを守り続け、道の駅での販売にも挑戦したね。



にじ学年の4年生 高床山をフィールドに探検を繰り返し、映画を作りました。

さくら学年5年生 一粒の価値と収穫の喜びなど、米作りからの学びは数多く。販売活動も楽しかったね。

クローバー学年6年生 自分の手で作るあおその和紙。世界に一つの卒業証書を手感動の卒業でした。

地域コーナーは、3団体が協力して、素敵な桜の花を咲かせてくれました。鳥坂山の桜が大きくなりますように...



裏方本部はペンキ補給として大活躍!

# 最後の年は全校で苧引き体験

これまで6年生だけが青苧刈り・苧引き体験をしていたのですが、貴重な体験だけに全校の活動として呼びかけました。親子共々初体験の方が多かったです。早朝の青苧刈りは、高学年親子のみで、苧引き体験は全校で行いました。毎年後援会長さんにお世話になってきましたが、最高人数の受け入れに、様々なご準備を下さり、頭が下がる思いでした。



学年に関係なく、低学年もへらを上手く使いながら、茎を薄くはいでいきました。1時間程の作業時間でしたが、集中して親子で取り組むことができました。これからの作業は、越後青苧の会の皆様に委ねることが大半ですが、秋の手漉きが楽しみです。



# 3年生 ぶどう販売に挑戦!

800個袋がけしたナイヤガラも甘く実り始めました。様々な活動が目白押しの中、昨年より早い収穫に慌て始めましたが、子どもたち自身が販売活動を決めてから、準備が一気に進み始めました。2房で1パック200円としました。10日は学校前で販売を経験し、12日は道の駅でした。学校前での経験を振り返り、大舞台道の駅での販売に活かしていった3年生でした。3年生のおかげで給食にもたくさんのブドウをご馳走になりました。



# 佐渡へ12人旅 ~修学旅行~

9月4日一泊二日の佐渡への旅に6年生が出発しました。12人の内訳は男子6名、女子6名の組み合わせです。一つの部屋にみんなが宿泊できた思い出多き旅となりました。写真は満ち足りた顔で、小木港を後にする所です。金山、砂金採り、朱鷺、陶芸、太鼓...と数多く体験してきましたが、旅館の夜が一番のようでした。

